

受章・受賞された皆さんおめでとうございます

秋の叙勲・危険業務従事者叙勲 法務大臣表彰

政府は、「平成29年秋の叙勲」・「第29回危険業務従事者叙勲」受章者、「法務大臣表彰」受賞者をそれぞれ発表しました。

叙勲は、長年にわたりさまざまな分野で社会に貢献された人に、また、法務大臣表彰は人権擁護と人権思想の普及高揚に貢献された人に贈られるものです。

— 秋の叙勲 —



瑞宝単光章
【消防功勞】
松田 正美 さん
(相去町・80歳)

昭和37年に北上市消防団に入団し、約37年間にわたり豊富な経験と人望で、消防団発展に貢献しました。有事の際には率先して災害の防衛にあたり、平成5年に発生した立花地区の山林火災では、消火用の水を現場に送るため北上川からホースをつないでポンプで水を送り、早期の消火に尽力。受章について「先輩たちの指導のたまもの。ありがたく思っている」とにこやかに語っていました。

昭和46年に北上市消防団に入団。約40年間にわたり、責任感を持ち率先して消防活動に従事し、日夜消防団発展のため献身的に活動しました。平成18年に発生した和賀町後藤の産業廃棄物処理施設の火災では、黒煙が上がる現場で約3日間にわたり消火用の水の確保などを行い、消火を支援。受章について聞くと「うれしく思う。今後、若い人たちに地域を守ってほしい」と話していました。

瑞宝単光章
【消防功勞】
佐藤 章司 さん
(相去町・74歳)



菅原久一さん(鬼柳町)は大正6年10月14日生まれ。26歳で故トキさんと結婚し、子4人、孫9人、ひ孫8人に恵まれています。昭和13年に軍に召集され、仏領インドシナで野戦病院に勤務し、除隊後に帰郷。その後は大工として仕事に励みました。百歳を迎え「皆さんに祝っていただき、ありがとうございます」とにこやかに語りました。

平野秀子さん(口内町)は大正6年10月9日生まれ。20歳で故一三さんと結婚し、子4人、孫10人、ひ孫12人に恵まれています。スポーツ観戦が好きで、高校野球やオリンピックピックなどなんでも観るそうです。百歳を迎え「もつと若いと思っていた。知らないうちに百歳になっていた」と笑顔で話していました。

市は、10月に満百歳を迎えた5人に祝い状と記念品を贈り、長寿を祝いました。

祝・百歳

これからお元気で



家族らに囲まれる久一さん(前列中央)



花束を持つ秀子さん

— 秋の叙勲 —



瑞宝単光章
【専門工事業務功労】
西塚 保 さん
(村崎野・68歳)

昭和41年から建設関係の業務に従事。溶接の技術に秀でており、茨城県の鹿島スタジアムの照明鉄塔工事や東北横断自動車道(釜石道)の橋梁工事など、県内外問わず多くの困難な工事を施工しました。また、次代を担う後進の育成にも尽力。安全に工事を行うことや、社員同士のコミュニケーションを取ることを大切にしてきたそうです。受章について「身に余る光栄です」と笑顔で語っていました。

— 危険業務従事者叙勲 —

昭和43年に北上市消防士として入職し40年間にわたり、温厚な人柄と積極的な実践力で地域の安全・安心に貢献。出動の際は二次災害を起こさないよう、自身はもちろん、職員の安全にも配慮を怠らなかつたそうです。また、県内初の女性消防士が採用された際には上司として指導に携わるなど、現在では欠かせなくなった女性消防士の育成に尽力しました。受章について「地域の人たちや消防関係者の皆さんのおかげ。協力してもらった家族にも感謝している」と語っていました。

瑞宝単光章
【消防功労】
小笠原 正見 さん
(小鳥崎・68歳)

— 法務大臣表彰 —



人権擁護委員
葛西 洋子 さん
(中野町・75歳)

平成18年から国民の基本的人権を守るための人権擁護委員として、さまざまな相談・活動に携わっている葛西さん。永年の活動が認められ、今回の受賞となりました。相談内容は多岐にわたるため、「法律に精通していないと大変なことも多いが、地域内の委員や家族の支えがあり、今まで続けてこられた」と言います。「相談に訪れた人が来てよかったと言ってくれるとうれしい」と話していました。

平賀ミヨさん(常盤台)は大正6年10月23日生まれ。妙桃寺に嫁ぎ、子6人、孫9人、ひ孫7人に恵まれています。今でもタクシーに乗って買い物や美容院に出かけ、家事もすべてご自身で行っているそうです。
朝5時に起き、ご本尊などを拝むことが日課。「『日日是好日』を大事に過ごしています」とはきはきと話していました。

佐々木ハツヨさん(和賀町岩崎)は大正6年10月15日生まれ。16歳で故正さんと結婚し、養子として義和さん(73歳)を迎え、孫2人、ひ孫5人に恵まれています。農業を営むかわら、皇居へ清掃などの奉仕活動に行っていたそうです。
義和さんは「働きものの母。他の人の模範になるよう生きてほしい」と話していました。

鈴木茂夫さん(相去町)は大正6年10月15日生まれ。31歳でミヨさんと結婚し、子3人、孫5人、ひ孫9人に恵まれています。満州に派遣され抑留を経験し、帰郷後は農業に従事。今も天気の良い日は植木の手入れや草取りをしているそうです。
長生きの秘訣は、朝晩のうがいと体操。「野菜を育てるのが楽しみ」と語っていました。



祝い状を持つミヨさん



花束を持つハツヨさん(前列中央)



花束を持つ茂夫さん(前列中央)